森林資源生産学特論 (2単位)

担当者氏名 上原 巖・今富裕樹・菅原泉

◆学習・教育目標

林学専攻では森林の保全と持続的な利用を目指し、総合的な研究能力と管理能力を養う教育目標がある。森林資源生産特論では、森林の育成から伐採搬出までの総合的な研究能力を養うために、森林、特に人工林を育成するための樹木生理、森林生態、森林立地、森林における生物多様性の重要性を理解し、また、森林の伐採、搬出に必要な基盤である林道・作業道や林業機械について学ぶ。さらに現在における日本の森林・林業の課題やその解決法を考察し、諸外国の森林・林業との比較も行う。資料には英文・独文誌も利用し、語学能力も高める。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

森林立地 造林 樹木生理 林業工学
森林機械 森林作業システム 森林資源

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	森林資源生産とは	森林資源生産の重要性について	育林と伐採搬出に関する技術及びそれらをシステム化した一連の森林資源の生産技術を修得する。上原・菅原が森林の更新から森林施業までの造林関係を、今富が森林の基盤整備としての林道・作業道の機能や施工技術、機械作業を担当する。共に関連するテーマについてはリンクしながら行う。
2	森林の成立と構造 (第2～4週)	森林の立地環境、森林生態、林木の育成・生理特性、動植物の多様性保全、人工・天然更新技術を学び、	
3	森林の育成と保育 (第5～7週)	植栽から保育、成林、更新に至るまでの持続的管理のための造林技術を修得する。	
4	林道・作業道の機能と施工 (第8～10週)	林道・作業道の機能と配置と評価、及び施工技術を修得する。	
5	森林機械の作業システム (第11～13週)	伐採搬出の各種技術、及び効率的で安全性の高い森林機械システムを修得する。	
6	森林施業と労働災害防止 (第14週)	森林資源の生産に当たって生じやすい労働災害とその防止策を修得する。	
7	森林資源生産のシステム (第15週)	更新から育成、伐採、搬出と森林資源を生産する安全で効率的な一連のシステムを考察する。また、現在における日本の森林・林業の課題やその解決法を諸外国の森林・林業と比較しながら行う。	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)
指導教授により、適宜、周知する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)
指導教授により、適宜、周知する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

課題レポート等により評価を行う。

◆その他受講上の注意事項

自ら進んで学び、新たなシステムを構築するという自主的、自律的な態度で臨むこと